

【重要なお知らせ】

株式会社さくらインベストは商品先物取引業者です。

商品先物取引は、元本および利益が保証されている取引ではありません。証拠金に比べて、大きな金額の取引を行うため、ハイリスク・ハイリターン取引になります。又、当社の情報に関しましては将来の価格を、保証したものでも約束したものではありません。お取引の判断は自己責任にてお願いいたします。当社の企業情報は、当社の本店及び下記のホームページで開示しております。

【店頭商品デリバティブ取引のリスク・費用などの重要事項】

店頭商品デリバティブ取引(以下、「CFD取引」という)とは、原資産の値動きを反映する銘柄の売り買いの差金の授受によって決済する店頭商品デリバティブ取引であり、当社とお客様の相対で行われる取引です。また、お客様が所定の証拠金を当社に事前に預け入れたうえで行う証拠金取引であり、証拠金の額を超える金額の取引ができる一方、相場の変動により損失が生じる場合があり、証拠金の額を超える損失が生じる可能性もございます。

＜リスクについて＞

CFD取引は、その取引の仕組みやリスクが取引所において行われる取引(所取引)とは異なるため、その取引にあたっては契約締結前交付書面および約款等を十分に読み、それら内容をご理解かつ承認いただく必要があります。CFD取引には、銘柄の市場価格が変動して元本を割り込むリスクや、システム機器、通信機器等の故障等、不測の事態による取引の制限が生じるリスクや、少額の証拠金で大きなレバレッジ効果を得ることができ、大きな利益を得る可能性がある反面、多大な損失を被るリスクがあります。また、損失を抑制する目的でロスカットルールが設けられていますが、通貨等の価格または金融指標や商品価格等の数値の変動により、このルールに基づくロスカットが執行されて損失が生ずることとなる可能性があり、場合によっては当該損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。主要国での祝日や特定の時間帯において、また、天災地変、戦争、政変、同盟罷業等の特殊な状況下で、当社からのレートの提示が困難になりお客様が保有するポジションを決済することや新たにポジションを保有することが困難となる可能性があります。当社がCFD取引に関連して取引を行うカー先の破綻等による取引制限、または建玉及び証拠金の移管等により、被害等の取引先信用リスクがあります。お客様と当社が行う取引については、相対取引として行うものであり、当社が表示する銘柄等のビッド(売値)とアスク(買値)とに差(スプレッド)があります。CFD取引に関連して発生するスワップポイントについては、金利状況により変動するおそれがあります。CFD取引に係る税制および関連法規の変更等により、現状より不利な条件での取引となる可能性があります。CFD取引に含まれるリスクとして上記に掲げられたものは一般的なものであり、リスクとして全てを網羅しているものではありません。

＜証拠金等の額とレバレッジ＞

商品先物取引は委託に際して証拠金等の預託が必要になります。最初に預託する当社必要証拠金額は商品により異なりますが、2024年8月1日現在CFD取引の最高額は取引単位(1枚)当り3,030,317円、最低額は取引単位(1枚)当り14,340円です。ただし、実際の取引金額は当社必要証拠金額の20倍という著しく大きな額になります。そのため、相場の変動幅が小さくとも、大きな額の利益または損失が生じることのあるハイリスク・ハイリターン取引です。また証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがあり注意が必要です。ただし、その額は商品や相場変動により異なります。

＜手数料について＞

CFD取引において、手数料は発生いたしません。

＜スプレッドについて＞

当社は、CFD取引において、各銘柄にアスク(買値)とビッド(売値)を同時に提示し、お客様はアスクで買い付け、ビッドで売り付けることができます。当社は、お客様に提示するアスク及びビッドを市場またはカー先の提示する価格により銘柄及び市場の状況に応じて決定します。アスクとビッドには価格差(スプレッド)があり、通常時アスクはビッドよりもスプレッド分、高くなっています。

＜ロールオーバーについて＞

金スポット、銀スポット、原油スポット、北海ブレントスポット、天然ガススポット、銅スポット、プラチナスポット、プラチナ50、パラジウムスポット、農作物スポットの転売又は買戻しによる決済を行わない場合は、当社では取引期限がなくお取引いただけますが、それぞれの参照市場の最終営業日の前に当社が定める日において、提示する限月の交代を行います。価格調整額の受払いは当該外貨ではなく日本円でなされることから、日本円に換算する際の為替リスク(コンバージョンリスク)があります。

＜スワップ金利について＞

現物CFD取引では、当日のポジションを翌日に持ち越す場合、金利に相当する日歩(スワップ)が発生します。日歩はLIBORまたはLIBIDをベースにしてカー先のスプレッドを調整して決定されます。現物CFD取引では、買い建ての場合にはお客様に支払い金利が、売り建ての場合にはお客様に受取り金利が発生します。なお、金現物、銀現物以外のお取引では、日歩は発生しません。

＜投下資金可能額について＞

投下資金可能額とは、商品デリバティブ取引の性質を十分に理解したうえで、損失を被っても生活に支障のない範囲の資金のことです。尚、設定した投下資金可能額或いは習熟期間中における投下資金可能額の範囲を超えて取引を行う事をご遠慮いただいております。

＜ロスカットについて＞

お客様の維持率が25%を下回った時点で、損失の拡大を防ぐため、当社はお客様に通知することなく、当社がお客様の計算において一部またはすべてのポジションを維持率が25%以上になるまで強制決済することができるものとします。強制決済の価格、預託している証拠金の額以上の損失が発生する可能性があります。またロスカットルールに規定する値幅以上の損害が発生した場合においても、当社はその責を負わないものとします。

＜マージンコールについて＞

当社では前営業日終値時点において有効証拠金額判定時刻を設けています。有効証拠金が必要証拠金を下回った場合、当営業日16時00分までにその不足額を追加預託、もしくは保有する建玉の一部、又は全部を決済して維持率を100%の状態にして頂かなければいけません。100%に満たされない場合においては、自動的に保有する建玉の一部、又は全部を100%の状態まで決済させて頂きます。尚、16時00分を迎えた時点で、相場の変動により評価損が減少し不足の額が解消されたとしても、有効証拠金額判定時刻時に必要となった当該不足額については追加預託もしくは保有する建玉の一部又は全部を決済の必要があります。

＜TTS・TTBIについて＞

為替(円/ドル)レートは、決済の時点で益金が発生した際には、ドル建ての益金を円建てに換金しますので、「TTBI」に基づく計算をし、決済の時点で損金が発生した際には、円建てのご資金をドル建てに換金していただくことにより損金を充当いたしますので、「TTS」に基づく計算をします。損益金が円に換算されますので、為替差損益が発生します。

【お客様相談窓口】
TEL：0120-886-506

【日本商品先物取引協会相談センター】
日本商品先物取引協会は、商品先物取引業務に関するお客様からの相談、苦情の受付窓口として、また、紛争を解決するための仲介手続きの窓口として設置・運営されている機関です。
TEL：03-3664-6243
<http://www.nisshokyo.or.jp/>

【本資料使用上の留意点について】

当資料は、店頭商品デリバティブ取引のご紹介を目的として当社が作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

本店	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番6号 桜橋八千代ビル9階
電話番号	06-6347-1680(代表) / ☎ 0120-995-759
福岡支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2丁目13番18号 天神ホワイトビル6階
電話番号	092-518-3501(代表) / ☎ 0120-907-208

設立	2010年10月15日
代表取締役	服部 美月
資本金	105,000,000円
事業案内	商品先物取引業者 店頭商品デリバティブ取引の取扱業務 国内商品市場取引の取次業務
加入協会	日本商品先物取引協会 日本商品委託者保護基金



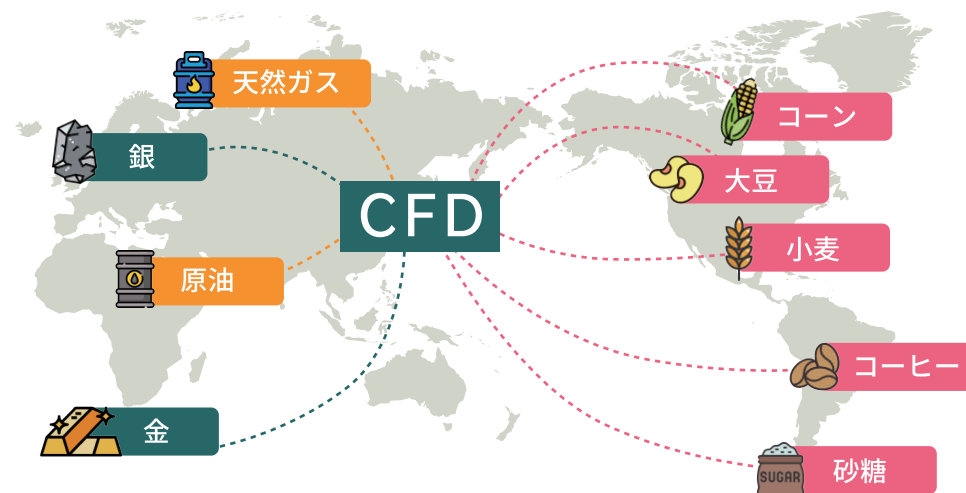
SAKURA INVEST

CFD取引

資産運用の可能性が広がる

CFDって何？

世界中のあらゆる
“商品の価格”を対象とする商品CFD

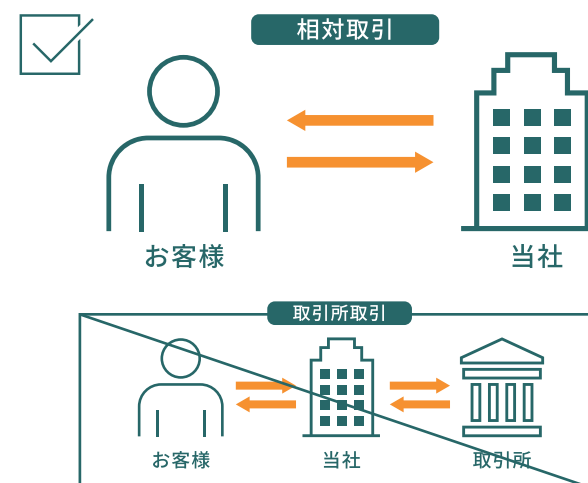
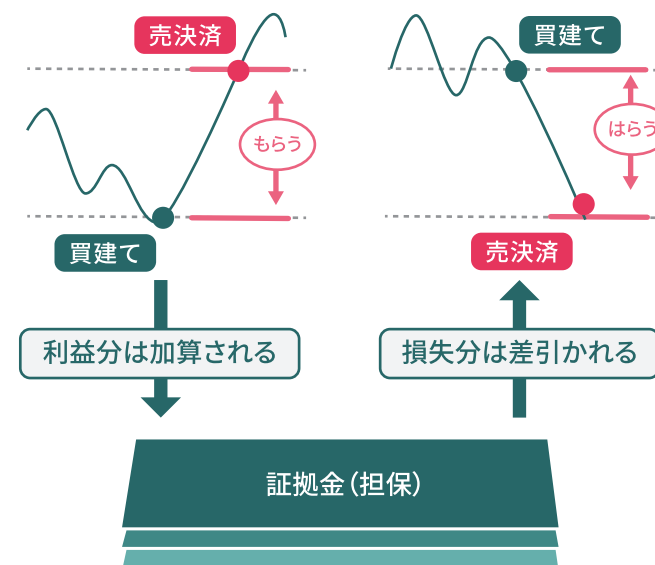


「差額だけをやり取りする」取引

CFDはContract for difference の略で「差額だけをやり取りする」取引、“差金決済取引”を意味します。現物を伴わず、利益が出たら利益分のみ受取、損失が出たら損失分を支払う形で取引を行います。

「証拠金」を担保にした取引

“差金決済”では、担保として“証拠金”を預けることで取引ができます。取引したい金額を全額用意する必要はありません。レバレッジを効かせることで、手持ち資金よりも大きな金額での取引が可能になります。



相対取引(店頭取引)

CFD取引は相対取引になります。取引所取引とは異なり、取引業者と直接自己の勘定において取引を行います。さくらインベストの相対取引は、お客様と当社との相対になります。当社では、市場またはカバー先における取引価格を参考として、値決めを行いお客様にレートを表示しています。取引の条件としてスプレッドがあります。

豊富な取扱銘柄

＼ 人気銘柄多数！ ／

貴金属 安全資産の代名詞 金	エネルギー 原油価格の指標 WTI原油
エネルギー 世界を代表する米国産ガス 天然ガス	農作物 2023年 最も値上がりした銘柄 ココア

＼ 幅広いラインナップ ／

エネルギー 原油 天然ガス	貴金属・ベースメタル 金 銀 銅 プラチナ パラジウム	農作物 大豆 小麦 砂糖 ココア コーヒー コーン
----------------------------	---	--

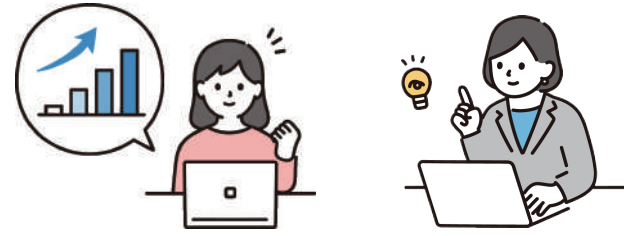
＼ 取引期限がない ／

当社の商品CFD取引には取引の期限がありません。

通常の先物取引にある満期日がないため、取引期限を設けることなく、自由なタイミングでの決済が可能です。

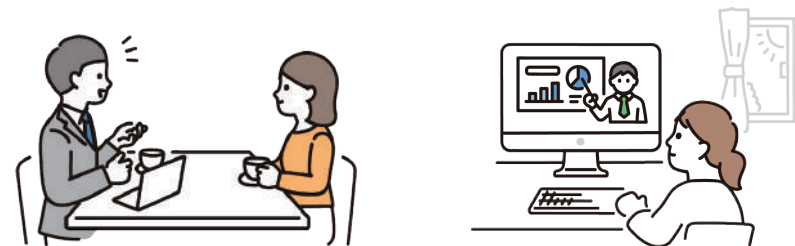
通常	CFD
取引期限あり 期限が来る前に決済が必要	取引期限なし 自由なタイミングで決済でき、何か月でも保有可能！

1 専任の担当者によるサポート



当社ではお客様専任のアドバイザーがつき、お客様のお取引をサポートいたします。
投資に関する相談ができ、投資のタイミングやおすすめの銘柄、資金管理など専門家から直接話を聞く事ができます。

2 タイムリーな情報収集・提供



幅広い情報を収集しているプロから、情報提供を受けることができます。
ネット取引ではご自身で収集する必要がありますが、対面取引ではアドバイザーの意見を聞いたうえでご判断が可能です。

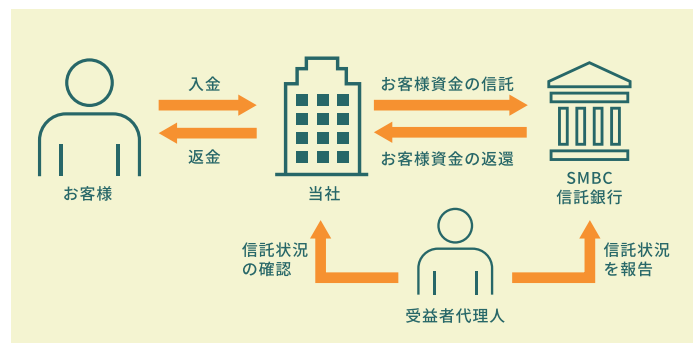
3 取扱銘柄が業界トップクラス



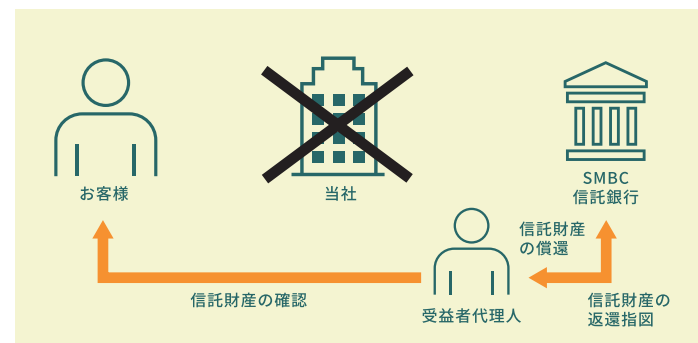
当社では商品市場に特化した銘柄を豊富に取り扱っており、エネルギーや貴金属・農作物まで幅広くお取引いただけます。

4 安心の信託分離保管体制

平常時の証拠金等の流れ



破綻時の証拠金等の流れ



当社では、お預かりしている有効証拠金を上回る金額を信託口座に金銭信託し、当社の資産とは区分しSMBC信託銀行（信託契約先銀行）にて分離保管しています。これにより、万が一、当社が破綻することになっても、お客様よりお預かりしている証拠金等は受益者代理人等を通し、お客様に返還されます。

※信託分離保管は、店頭商品デリバティブ取引の元本を保証するものではなく、返還する金額につきましては、お客様のお取引の損益分を反映した金額になります。

＼ 50代～70代の方に支持されています ＼

お客様の平均年齢

55歳

＼ ネット取引や不動産投資経験者もご愛顧 ＼

投資経験

株式・不動産
投資信託

＼ リスクを下げるために余裕をもった運用 ＼

平均預かり資産残高

490万円

※2023年11月時点の当社調べに基づくデータ

Q & A



株式しか投資経験がないけど、自分にも取引できるのかな？

実際にそういったお客様も多く、商品投資未経験でもアドバイザーが全面的にサポートするため、安心してお取引いただけます。



今まで一人で取引していたけど、資金管理まで教えてくれる？

もちろんです！専任のアドバイザーがタイムリーに分析・情報提供するだけでなく、適切なレバレッジや資金管理の方法までサポートさせていただきます。



商品先物以外の分野も相談に乗ってくれるのかな？

当社のアドバイザーは自身での運用経験も豊富なため、商品に限らず幅広い分野でご相談を頂くことが多く、そうした側面からもご好評・ご愛顧いただいております。



証拠金制度

市場またはカバー先における取引価格を参考とし、その変動状況等を考慮して前営業日の終値レートにて、当社で算出される変動証拠金制度です。前営業日の終値による総代金に5%（ビッグについては6%）を乗じて算出した必要証拠金を毎営業日適用いたします。ただし、当社が必要と判断した場合には、上記に限らず必要証拠金を変更する場合があります。また、変更適用日はその都度定めます。毎日の証拠金は当社ホームページ上部に設置しております「本日の証拠金」よりご確認くださいませ。

＜証拠金算出計算例＞ 原油 1 バレル＝80ドル 為替＝150円の時

80ドル×1,000バレル×150円 = 12,000,000円
(取引単位) (総代金)

12,000,000円×5% = 600,000円 原油 1 枚の必要証拠金
(総代金)

有効証拠金

預託証拠金額と評価損益（含み損益＋未実現スワップ）の合計です。
ポジションを保有されていない場合、預託証拠金額と有効証拠金額は同じ金額となります。

維持率

有効証拠金に対する必要証拠金の割合のことです。維持率は「有効証拠金÷必要証拠金×100」で計算できます。

マージンコール

前営業日終値時点にて、お客様の維持率が100%を下回った場合にかかるアラートをマージンコールと言います。
仮に、100%を下回った場合は、①下回った不足額分をご入金頂くか、もしくは②お客様の維持率が100%に回復するまで、お客様の保有している建玉の一部もしくは全部を決済する必要があります。
当営業日16時00分までに100%に満たされない場合は、自動的に保有する建玉の一部、又は全部を100%の状態に回復するまで決済させていただきます。なお、日本が祝日の場合は、金融機関等の休止により入金が困難な為、上記①②の対応期限を休日明けの営業日16時00分までとします。

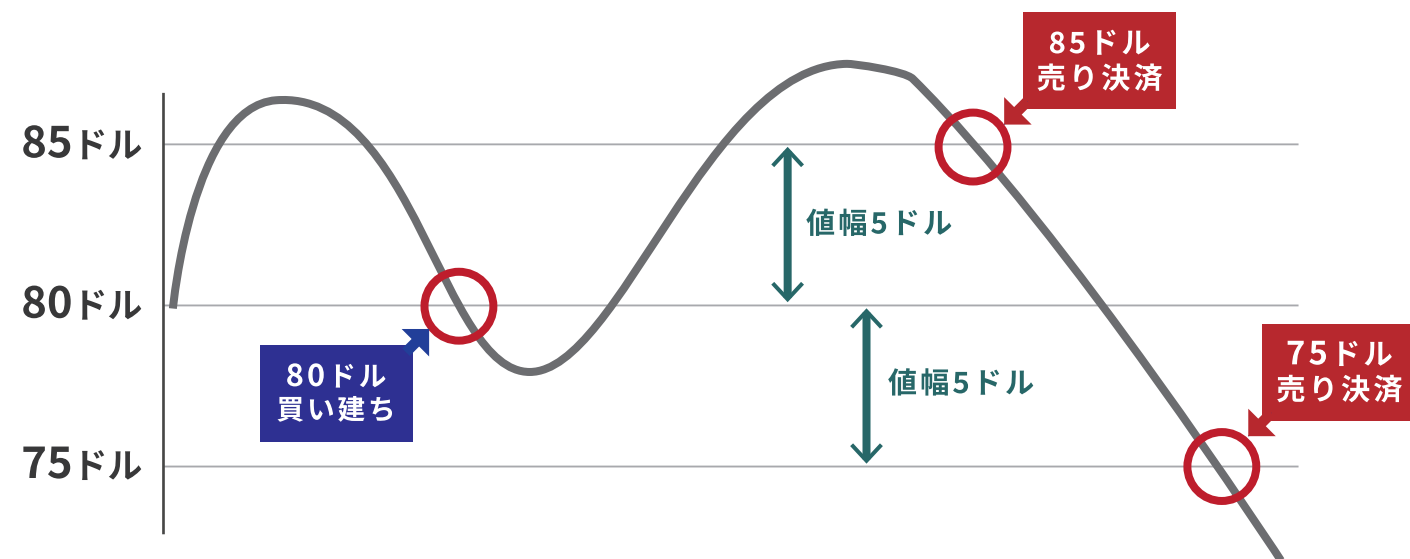
ロスカット

建玉がある水準を超えて損失を被った場合に、それ以上の損失を防ぐために、強制的に建玉が決済されることです。
当社では、維持率が25%を割り込んだ時点で、維持率が25%以上になるまで、自動的に建玉の一部もしくは全てが決済されます。ロスカットの結果、預託している証拠金以上の損失が発生する恐れもあります。また、ロスカットルールに規定される値幅以上の損失が発生した場合でも、当社はその責を負わないものとします。

損益計算例

原油取引の場合

投資資金1,000万円 1バレル＝80ドル 為替＝150円
原油5枚を買った場合（買建玉）→ 必要証拠金 3,000,000円



価格上昇のケース（80ドル→85ドル）

+5ドル (値幅)	×	1,000バレル (倍率)	×	5枚 (枚数)	×	150円 (為替)	=	3,750,000円 (損益)
--------------	---	------------------	---	------------	---	--------------	---	--------------------

有効証拠金 13,750,000円

価格下落のケース（80ドル→75ドル）

-5ドル (値幅)	×	1,000バレル (倍率)	×	5枚 (枚数)	×	150円 (為替)	=	-3,750,000円 (損益)
--------------	---	------------------	---	------------	---	--------------	---	---------------------

有効証拠金 6,250,000円

スプレッド

売値（ビッド）と買値（アスク）の2つの価格を同時に提示することを、2Wayプライスといいます。この売値と買値の差をスプレッドといいます。例えば、金の基準価格が2,000ドルの時にお客様の買付価格は2,003ドル、売付価格は1,997ドルとなります。スプレッドは銘柄ごとに異なり、銘柄間では原則固定となります。

スプレッド例

原油 基準価格80ドル			天然ガス 基準価格2.0ドル		
0.2ドル		0.2ドル	0.02ドル		0.02ドル
79.8ドル	80ドル	80.2ドル	1.98ドル	2.0ドル	2.02ドル
(ビッド) 売	(仲値)	(アスク) 買	(ビッド) 売	(仲値)	(アスク) 買
← 0.4ドル (スプレッド) →			← 0.04ドル (スプレッド) →		

ロールオーバー・価格調整額

当社のCFD取引では、「ロールオーバー（参照限月の変更）」を行うことで決済期日なくお取引いただくことが可能です。期日が迫った限月から、先の限月へと乗り換えることで期日を先送りにして、長期間ポジションを維持することができます。しかしながら、乗換前の限月と乗換先の限月とでは価格が異なるため、限月の交代による価格差（評価損益）が発生することになります。当社では、限月の交代に伴った価格差を「価格調整額」として日本円に換算し調整を行います。評価額がプラスになった場合は預かり証拠金から差し引かれ、評価額がマイナスになった場合は預かり証拠金に付与されます。（原油、天然ガス、銅、プラチナ、パラジウム、農作物の銘柄が適用となります。）

ロールオーバーの参考例（買ポジションの場合）



調整額の計算方法

限月移行による価格差 × その時点での為替レート × 取引単位 × 枚数分

①（限月移行前 68.17ドル － 限月移行後 68.31ドル）＝ － 0.14ドル

－0.14ドル × 為替150円 × 1000倍 × 1枚 ＝ － 21,000円

②（限月移行前 82.53ドル － 限月移行後 82.46ドル）＝ 0.07ドル

0.07ドル × 為替150円 × 1000倍 × 1枚 ＝ 10,500円

空売り

CFD取引は、「買い」はもちろん、「売り」からのお取引を始めることができます。「売り」からお取引を始めた場合は、価格が下がった場合にその差額が利益になります。逆に、価格が上がった場合は損失になります。

投下資金可能額

商品デリバティブ取引の性質を十分に理解したうえで、損失を被っても生活に支障のない範囲で設定する資金額のことです。お客様に設定いただいた投下資金可能額を上限として、設定いただいた投下資金可能額から、ご入金・ご出金された額の差引額が、その後のお取引においてご入金可能な額となります。投下資金可能額を超えるご入金はできません。

注）原則お取引開始後3ヶ月未満の方は、習熟期間中のため設定額の1/2が上限となります。マージンコールのご対応によるご入金も投下資金可能額に含まれますので、ご注意ください。投下資金可能額を超えるご入金は投下資金可能額の変更が必要となり変更手続きが終了するまでは原則受け付けることができません。投下資金可能額の増額変更を希望される場合は、お客様の収入・資産状況・投資経験等により、社内審査を実施いたします。

スワップ金利

金現物・銀現物では、当日のポジションを翌日に持ち越す場合に、金利に相当する日歩（スワップ）が発生します。規定時間をまたぐと、「買い建て」の場合には、お客様に支払い金利が、「売り建て」の場合には、お客様に受け取り金利が発生し、決済時に最終的なスワップ金利が確定いたします。（例えば、金現物の場合は、1枚買うと1日660円金利の支払いが発生し、1枚売ると180円金利がつきます。）なお、金現物、銀現物以外のお取引では日歩は発生いたしません。日歩の金額は変動する場合がありますので、変更の際は、お電話または郵送、HP等でお伝えいたします。

TTSとTTB

TTSとは「Telegraphic Transfer Selling rate」の略で、当社がお客様に対して外貨を売る（お客様が円を外貨に交換する）時に用いられる為替レートです。決済の時点で損失が発生した場合、円建ての資金をドル建てに換金していただくことによって、損金を充当いたしますのでTTSに基づく計算をします。TTBとは「Telegraphic Transfer Buying rate」の略で、当社がお客様に対して外貨を買い取る（お客様が外貨を円に交換する）時に用いられる為替レートです。決済の時点で益金が発生した場合には、ドル建ての益金を円建てに換金するため、TTBに基づく計算をします。この計算に使用するTTS及びTTBは、市場またはカバー先の外国為替レート及び、三菱UFJ銀行の発表している外国為替相場（SPOTRATE）を参考に計算します。当社におきましては、決済時に損金が発生した場合（TTS）は仲値からプラス1円、決済時に益金が発生した場合（TTB）は仲値からマイナス1円で計算いたします。

税金

個人の方が国内の商品・金融・有価証券を原資産とする取引所デリバティブ取引又は店頭デリバティブ取引の差金決済やオプションの権利行使・被権利行使を行ったことにより年間の損益を通算して利益となった場合には、その決済を行った日の属する年分の所得として、他の所得と合算しない「申告分離課税」により課税されます。



※特定口座で「源泉徴収あり」を選択した場合

リスク

価格変動リスク

原資産の価格変動を加味しCFDの価格は提示されますが、CFD価格の変動は、その変動の大きさによって多額の利益を生じる可能性がある反面、多額の損失が発生する可能性があり、証拠金の金額を上回る損失を被る可能性があります。

流動性リスク

急激な流動性の低下により決済による注文を執行することや新たな注文を執行することができない可能性があります。店頭商品デリバティブ取引(商品CFD取引)の取引対象市場の中には、高い市場流動性の伴わない参照原商品市場が含まれる場合があります。従って、ポジションを決済する際に、市場流動性の不足により、価格表示が遅れる、もしくはまれに不可能な場合が発生し、損失が生じるリスクがあります。

信用リスク

商品先物取引業者およびカバー取引先の提携金融機関等の業務や財務の状況の悪化等により、証拠金の一部が返還されず、損失が生じるリスクがあります。

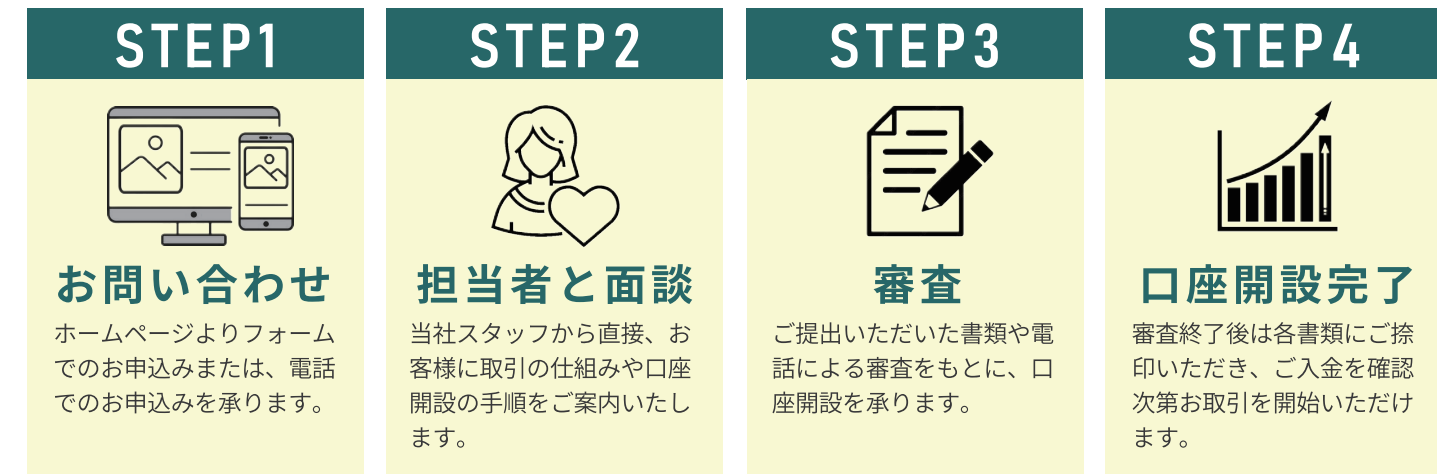
システムリスク

取引に関する顧客、商品先物取引業者、カバー取引先を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合等には、情報配信、注文の発注等が遅延したり、不可能になる場合があります。

強制ロスカットに伴うリスク

強制ロスカットは顧客の証拠金の一定額を保証するものではなく、相場が急激に変動した場合等には、預け入れた証拠金を上回る損失が発生する可能性があります。

口座開設までの 4 STEP



**当社スタッフがサポートいたします。
お気軽にお問い合わせください。**

お問い合わせ

0120-995-759

受付時間：平日8:30～17:30

各種お申込みフォーム

本人確認書類投稿フォーム

お名前・ご連絡先など情報を入力し、本人確認書類をアップロードください。



その他確認・申出書

そのほか確認書・申出書についてはこちらをご参照ください。

